

学校教育目標

創 【未来を拓く】

～輝く瞳、笑顔とあいさつ、光る汗～
めざす生徒像

「考え、行動し、夢をもって成長する」生徒

- (1) 学び合い、高め合う生徒⇒輝く瞳・・・(知)
- (2) 認め合う、心豊かな生徒⇒笑顔とあいさつ・・・(徳)
- (3) 心身共に健康な、たくましい生徒⇒光る汗・・・(体)

校訓 自分らしさを光らせて

めざす学校像

- (1) 学力向上に努める学校
- (2) あいさつと歌声が響く学校
- (3) 安全で安心してすごせる学校
- (4) 地域とともに歩み、信頼される学校



3年先の稽古

2016年7月に61歳という若さで亡くなった大相撲の元横綱千代の富士・元九重(ここのえ)親方がインタビューで次のようなことを語っていたことがあります。

「3年先の稽古」という言葉があるんだけど、今日・明日とか一週間くらいやったところで、すぐには力はつかない。毎日毎日稽古することによって、3年くらいたって、ようやく稽古の貯金ができて本当の相撲の力ができてくる。そういう信念を持って頑張れる子は強くなっていくという言葉です。

千代の富士と言えば、身長183cm、体重124kgという幕内力士としては決して大きくない体で、脱臼癖があった体を徹底的に鍛え上げ、優勝回数31回を誇る昭和の大横綱でした。引退会見の時の「体力の限界…気力もなくなり引退することになりました。」と涙で声を詰まらせながら語りました。そういう努力の人の言葉だからこそ、重みがあるのだと思います。1日1日を大切に一生懸命取り組んでいる生徒がたくさんいます。

そこで、更にそれに加えて3年先を考えてもっともっと努力をしていくことが必要だということです。

3年生は、今進路決定の真っただ中ですが、高校進学を希望している人は、高校に入ってから3年後の姿を思い描いて、今の自分を見つめ直してほしいのです。また、1・2年生も目先のことに目を奪われて右往左往することなく、3年先にも楽しく意欲的に活動できるよう、今の自分の良さと課題をしっかり和自覚してください。

相撲界には他にも「1日サボれば自分でわかる、2日サボれば師匠に分かる、3日サボればお客に分かる」という言葉もあるようです。

今のままの自分で良いのか良くないのかは、自分自身が一番わかっているはず。そのことを、お父さんやお母さん、先生方から指摘されたなら素直に認め、3年先の自分の姿を思い浮かべて改善していくことが大切です。

生徒の皆さんはこれから成長していくわけですから、一生懸命努力してもわからないことやできないことがあることは決して「恥」ではありません。逆にわからないことやできないことをそのままにしておくことが「恥」になります。わからないことやできないことは、今のうちにわかるように、できるように努力すれば良いのです。

自分を変えるには、勇気と努力が必要です。生徒の皆さんが自分自身をしっかりと見つめ直し、3年先の自分を考えられるような力を身につけていきましょう。

～参考文献：名言で語る校長講話(教育開発研究所)～

千葉県総合体育大会結果

☆陸上競技部

千葉県中学校総合体育大会陸上競技の部

3年男子100m(12秒03)

宮本 倅琉(3年1組)

予選惜敗

共通男子200m(23秒79)

戸田 侑大(3年1組)

予選惜敗

共通男子4×100mR(46秒81)

戸田 侑大(3年1組) 石井 晃来(3年2組)

真行寺勇斗(3年2組) 宮本 倅琉(3年1組)

予選惜敗

1年女子100m(14秒37)

金谷 咲来(1年1組)

予選惜敗

紹 介



8月23日(土)日吉台丸山公園内で日吉台納涼大会が開催され、本校吹奏楽部が参加しました。

当日は3年生を中心に3曲演奏し、地域の方々に聴いていただきました。

吹奏楽部の皆さん、お疲れ様でした。